

## 平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場会社名 モリト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9837 URL <http://www.morito.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 與田 邦男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統轄本部長 (氏名) 一坪 隆紀 (TEL) 06(6252)3551  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	23,587	0.8	826	△22.3	1,122	3.4	687	△13.7
24年11月期第3四半期	23,407	2.1	1,064	△1.8	1,085	15.7	797	49.4

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 2,172百万円( 87.6%) 24年11月期第3四半期 1,158百万円( 92.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	47.49	—
24年11月期第3四半期	54.80	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	34,925	26,806	76.8
24年11月期	32,777	24,889	75.9

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 26,806百万円 24年11月期 24,889百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	8.50	—	8.50	17.00
25年11月期	—	9.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	4.7	1,600	15.2	1,600	13.9	900	14.2	62.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期3Q	15,400,000株	24年11月期	15,400,000株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	913,220株	24年11月期	914,008株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期3Q	14,486,536株	24年11月期3Q	14,549,999株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、当社は、平成25年3月25日開催の取締役会において、従業員の新しい福利厚生サービスとして自社の株式を給付し、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めることを目的として、「株式給付信託(J-E S O P)」を導入することを決議いたしました。

この導入に伴い、平成25年4月30日付で資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式196,000株を取得しております。信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めておりません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
(4) 追加情報 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 8
(4) セグメント情報等 .....	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年12月1日～平成25年8月31日)におけるわが国経済は、政権交代に伴う新政権の金融緩和・財政政策への期待感から円安・株高が進展し、日本企業の経営環境改善の兆しが見られるようになりました。

また、世界経済では米国経済の住宅・雇用環境改善により回復基調にあるものの、欧州経済における財政緊縮による停滞、中国・ブラジルをはじめとする新興国経済も輸出鈍化により減速する等、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、主に副資材を扱う当社グループにおきましては、中期経営計画「グローバル成長企業を目指して」の取組みのもと、グローバルな販売網・生産拠点の拡充を着実に推進することで、事業規模拡大を要とした成長戦略を実行しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高235億8千7百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益8億2千6百万円(前年同期比22.3%減)、経常利益11億2千2百万円(前年同期比3.4%増)、四半期純利益6億8千7百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における海外子会社の連結財務諸表作成にかかる為替レートは次のとおりです。

98.63円/米ドル、128.56円/ユーロ、16.07円/中国元、12.71円/香港ドル、3.29円/台湾ドル  
0.0047円/ベトナムドン

また、前年同期の連結累計期間における為替レートは次のとおりです。

79.31円/米ドル、98.73円/ユーロ、12.46円/中国元、10.22円/香港ドル、2.65円/台湾ドル  
セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (日本)

服飾資材関連では、ワーキングウエア業界の在庫調整により、引き続き販売が低調に推移しております。また、製品靴やスポーツウエア資材におきましても売上高が減少いたしました。

生活産業資材関連では、厳冬により流通小売関連の防寒系商品の売上高が、靴専門店・ホームセンター向けを中心に増加いたしました。しかし、中国問題及びエコカー補助金終了の反動等の影響を受けて、自動車内装品関連の売上高が減少いたしました。

また、コンパクトデジタルカメラ市場の縮小により、ケース等のアクセサリグッズにおきましても売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は185億6千9百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

#### (アジア)

服飾資材関連では、欧州・中国向けワーキングウエア資材の売上高が増加いたしました。また、スポーツシューズ・ベビーウエア・カジュアルウエア資材の売上高が下期より回復傾向にあります。

生活産業資材関連では、中国において自動車生産台数が増加傾向にあり、自動車内装品関連の売上高がゆるやかに増加しております。また、デジタルカメラのアクセサリグッズ・ストラップの売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は36億7千8百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

(欧米)

服飾資材関連では、昨年好調だった欧州向け高級服飾資材の販売が減少いたしました。英国王室御用達ブランド向け資材の販売が好調に推移しました。

生活産業資材関連では、米国向け自動車フロアマット部材・伸縮ネット等の新規受注が増加し、売上高は増加傾向にあります。また、欧州向けデジタルカメラケースの売上高が引き続き増加いたしました。

その結果、売上高は13億3千8百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

## (2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月11日に公表いたしました平成25年11月期の連結業績予想につきましては現在のところ変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

(株式給付信託(J-E S O P)における会計処理方法)

当社は、平成25年3月25日開催の取締役会において、従業員の新しい福利厚生サービスとして自社の株式を給付し、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めることを目的として、「株式給付信託(J-E S O P)」を導入することを決議いたしました。

この導入に伴い、平成25年4月30日付で資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式196,000株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、経済的実態を重視する観点から、当社と信託E口は一体であるとする会計処理をしており、信託E口が所有する当社株式や信託E口の資産及び負債並びに費用及び収益については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書に含めて計上しております。

なお、平成25年8月31日現在において信託E口が所有する自己株式数は196,000株であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,566,776	6,669,757
受取手形及び売掛金	8,879,237	8,862,245
たな卸資産	3,153,391	3,710,015
その他	709,453	921,063
貸倒引当金	△39,014	△34,694
流動資産合計	19,269,844	20,128,387
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,973,590	6,127,775
その他(純額)	2,482,710	2,757,308
有形固定資産合計	8,456,300	8,885,084
無形固定資産		
	284,937	380,286
投資その他の資産		
投資有価証券	3,787,721	4,550,610
その他	1,105,367	1,076,635
貸倒引当金	△126,779	△95,607
投資その他の資産合計	4,766,309	5,531,638
固定資産合計	13,507,547	14,797,008
資産合計	32,777,391	34,925,395
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,548,364	3,727,679
短期借入金	350,000	350,000
未払法人税等	356,810	250,784
賞与引当金	107,103	249,535
役員賞与引当金	30,400	27,805
その他	1,091,116	810,489
流動負債合計	5,483,795	5,416,292
固定負債		
退職給付引当金	784,458	769,004
役員退職慰労引当金	157,687	174,335
その他	1,462,385	1,758,850
固定負債合計	2,404,531	2,702,190
負債合計	7,888,327	8,118,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,532,492	3,532,492
資本剰余金	3,386,004	3,386,099
利益剰余金	19,683,405	20,116,106
自己株式	△672,472	△671,920
株主資本合計	25,929,429	26,362,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624,833	1,143,462
繰延ヘッジ損益	—	△84
土地再評価差額金	△714,198	△714,198
為替換算調整勘定	△950,999	14,956
その他の包括利益累計額合計	△1,040,365	444,135
少数株主持分	—	—
純資産合計	24,889,064	26,806,912
負債純資産合計	32,777,391	34,925,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	23,407,308	23,587,545
売上原価	17,364,128	17,583,527
売上総利益	6,043,180	6,004,018
販売費及び一般管理費	4,979,154	5,177,669
営業利益	1,064,025	826,349
営業外収益		
受取利息	16,503	20,758
受取配当金	75,380	76,442
不動産賃貸料	55,475	64,992
為替差益	—	247,390
その他	33,847	41,238
営業外収益合計	181,207	450,823
営業外費用		
支払利息	2,831	3,723
売上割引	80,862	80,292
為替差損	2,665	—
持分法による投資損失	40,468	30,966
その他	32,721	40,033
営業外費用合計	159,549	155,015
経常利益	1,085,683	1,122,156
特別利益		
固定資産売却益	192,400	1,035
負ののれん発生益	21,233	—
特別利益合計	213,633	1,035
特別損失		
固定資産除却損	7,783	7,793
固定資産売却損	1,170	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩額	33,491	—
特別損失合計	42,444	7,793
税金等調整前四半期純利益	1,256,872	1,115,398
法人税、住民税及び事業税	536,553	486,890
法人税等調整額	△79,634	△59,469
法人税等合計	456,918	427,421
少数株主損益調整前四半期純利益	799,953	687,976
少数株主利益	2,632	—
四半期純利益	797,320	687,976



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	799,953	687,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112,356	518,629
繰延ヘッジ損益	—	△84
土地再評価差額金	125,668	—
為替換算調整勘定	120,331	965,956
その他の包括利益合計	358,356	1,484,501
四半期包括利益	1,158,310	2,172,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,155,670	2,172,478
少数株主に係る四半期包括利益	2,639	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,228,584	2,971,898	1,206,825	23,407,308	—	23,407,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,541,728	1,037,869	4,858	2,584,456	△2,584,456	—
計	20,770,313	4,009,767	1,211,683	25,991,765	△2,584,456	23,407,308
セグメント利益	967,568	238,220	46,339	1,252,129	△188,103	1,064,025

(注) 1 セグメント利益の調整額△188,103千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△214,841千円、その他26,738千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,569,977	3,678,831	1,338,737	23,587,545	—	23,587,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,546,601	1,343,991	7,446	2,898,040	△2,898,040	—
計	20,116,578	5,022,822	1,346,184	26,485,586	△2,898,040	23,587,545
セグメント利益又は損失(△)	889,120	152,495	△945	1,040,671	△214,322	826,349

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△214,322千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△205,250千円、その他△9,071千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

該当事項はありません。